

ALTとJTEが共同で創造・ 実施する授業

岐阜県立加納高等学校 岸 亜美

1

テーマ設定の理由

【授業アンケートの結果より】

- 第1位⇒海外の人と英語で話せる
- 第2位⇒英語でニュースや本が読める
- 第3位⇒大学入試に対応できる（4技能）

→生徒は習得した英語を使用する機会を希望している

ALTの持ち味を生かしつつ、授業進度も保つことができるような授業ができれば・・・

2

取組内容

使用教材：CROWN English Communication I（三省堂）

Lesson6 “You and Your Smartphone – Who’s in Charge?”

- (1)ALTとJTE（Lesson6主担当）が授業をプランニングする。
- (2)ALTとJTEが共同で授業を行う。
- (3)ALTとJTEで授業を振り返る。
- (4) (1)～(3)をふまえ、ALTとJTEとが円滑にやりとりし、より良い授業を実現する方法について考える。

3

(1)ALTとJTE（Lesson6主担当）が
授業をプランニングする。

4

(1) ALTとJTE(Lesson6主担当)が授業をプランニングする。

①ALTとJTEが教材の中で扱いたい部分について共有する

【教材に見られる特徴】

・ほとんどの生徒がスマホを所有しており、身近な話題である

→意見を持ちやすい

・使役動詞や知覚動詞が多く使用されている

→論理表現で学んでいる内容とつながられる

・文章構造が、導入→具体例→結論(筆者の意見)という明確な形になっている

→英語の論説文の構造について説明しやすい

・抽象から具体の流れを実感しやすい文章である→一番明確にあらわれている部分を使って、アクティビティを考えられそう

5

(1)ALTとJTE (Lesson6主担当) が授業をプランニングする。

②話し合ったことをJTEが大まかに形にする

・ワークシートとPowerPointを大まかに作成し、ALTに流れを示す。

→ALTに1時間の流れのイメージをもってもらう。

→Section1には時間を要するが、いったん流れができれば、作成や情報共有の時間を短縮できる。

6

7

(1)ALTとJTE (Lesson6主担当) が授業をプランニングする。

③JTEはALTにワークシートとPowerPointに付け足してほしいことを説明する。

(例) ALTに作ってもらった知覚動詞を使った例文
→できるだけBritish Englishを活かしたものに。

• I **heard** you **fall** down the stairs .

• I **saw** a lot of lorries **delivering** goods.

• They **want** the loo **cleaned**.

loo = British English word that means 'toilet'
lorry = British English word that means 'truck'

8

(1)ALTとJTE (Lesson6主担当) が授業をプランニングする。

④JTEが最終チェックをしてからワークシートとPowerPointを完成させ、出来上がったものを週はじめの科会に持参し、同学年担当のJTEに説明する。

→同学年担当のJTEに、授業内でどのようにALTとやりとりしてほしいかを伝える。

9

(1)ALTとJTE (Lesson6主担当) が授業をプランニングする。

⑤ 授業の前に、ALTと各JTEで軽く打ち合わせる。

→授業の始めに、ALTとJTEが話している内容を生徒が聞きとる活動を行う。

会話の内容は、授業を担当するJTEとALTが打ち合わせして決める。

10

(2)ALTとJTEが共同で授業を行う。

11

(2) ALTとJTEが共同で授業を行う。

①ALTが主で担当する活動ではJTEが補助にあたり、JTEが主で担当する活動ではALTが補助にあたるというイメージをお互いに共有しておく。

→ (例)

- ・ ALTの英語が難しい場合には、JTEがやさしい英語で言い換える。
- ・ JTEの文法の説明が終わった後、ALTは実際どのような場面でその文法を使用できるのかを例示する。

12

(2) ALTとJTEが共同で授業を行う。

②ALTとJTEが英語でやりとりをする場面を生徒に見せる機会を設ける。

→1時間の授業でALTとJTEのどちらかが一人で主導し、もう一人がサブにまわるというよりも、2人が自然に会話(打合せ)をしながら、そこに生徒を巻き込むイメージで。

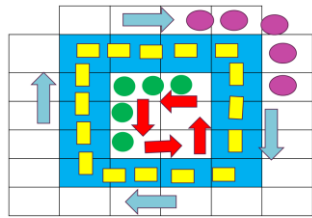
→ネイティブスピーカーと日本人がやっているラジオ英会話のような雰囲気です。

13

(2) ALTとJTEが共同で授業を行う。

③できるだけ多くの生徒とALTが1対1で会話できる機会を設ける。

Have a chat with Matthew and your classmates.



- 21 questions on the desks.
- Half of the students walk clockwise on the outside of the blue desks.
- The other half of the students walk counter-clockwise on the inside of the blue desks.
- When the music stops, go to the closest question sheet and meet your partner.
- Do JanKen! Winners ask the question. Keep talking for 1 minute.

14

(3)ALTとJTEで授業を振り返る。

(3) ALTとJTEで授業を振り返る。

①授業後に、一言でよいので感想を述べあう。

→職員室に戻るまでの時間だけでも良いので、お互いに次の授業につながるようなフィードバックをする。

(例)

- ALTの説明の中で、良かったと思う部分。
- どの活動で時間を短縮し、どの活動で時間を長くとるべきであったか。
- 生徒の理解度が低そうだった場面はなかったか。
- 説明の順番で入れ替えたほうが分かりやすくなる場面はなかったか。

15

16

(3) ALTとJTEで授業を振り返る。

②生徒にワークシートに添付した簡単な記述式のアンケートに答えてもらい、その結果を共有する。

【生徒からのコメントより抜粋】

- ・使役動詞make,have,letの違いを英語で知ること、日本語ではつかみにくいニュアンスをつかめた。
- ・分からないときに質問できる先生が2人いてうれしい。
- ・以前より英語で話す機会が増えてよいと思う。
- ・1つのセクションについて深いところまで学べたり、文法についても詳しく知ることができて楽しい。
- ・I understood how to use "make, have, and let," but I can't use them perfectly.
- ・I learned how to use smartphone properly and how much smartphones affect our lives.
- ・It is good for me to see example sentences when I learn new words.

17

(3) ALTとJTEで授業を振り返る。

②生徒にワークシートに添付した簡単な記述式のアンケートに答えてもらい、その結果を共有する。

【生徒からのコメントより抜粋】

- ・I really love how much we had speaking and conversation time at the start of the class. I like communicating with other people. However, I sometimes get tired when I listen about grammar for a long time. But I really loved how I was able to have conversations with classmates.
- ・Q&A, Grammar, New Expressionは勉強していて力になる実感が湧くのでこれからも続けてほしい。
- ・先生のSmall Talkとその後のスピーキング活動は楽しいので続けてほしい。
- ・以前の授業よりわかりやすくなった。プリントにメモをとる場所があってよい。
- ・みんなで円をつくって、いろんな人と会話するときに楽しかった。
- ・もう少し日本語の説明がほしい。
- ・宿題は日本語も使いながらできるものがある。
- ・使役動詞を使うのが難しいので、もう少し例文を作る練習がしたい。
- ・英語をゆっくり話したり、何度も繰り返したりしてほしい。

18

(3) ALTとJTEで授業を振り返る。

③研究授業を行い、他のJTEとALTから助言をもらう。

【英語科の先生方からのコメントより抜粋】

- ・JTEがALTの話していたことをシンプルに英語で言い直していた点が良かった。
- ・JTE使役動詞の説明をした後で、ALTがニュアンスの違いを説明するのは興味深いやり方。make/have/letのニュアンスがもっと出るような例文があると良かった。
- ・Small Talkの内容は、人間味があって聞いていて面白い。
- ・本文中に抽象→具体の流れがあることを、ALTがいる授業でアクティビティとして扱ったのは良いアイデア。ただし、Graphic Organizer等で可視化した方が分かりやすい。
- ・文法はJTEだけでやったほうが、生徒の理解は早い。
- ・今回は内容中心であったが、文法的には難解な部分がある。訳出をする必要がある本文があるが、そこは扱わなくて良かったのか。
- ・生徒が本文中の英文を本当に理解できていたのか謎である。

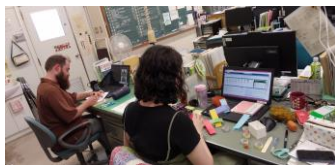
19

(4) (1)～(3)をふまえ、ALTとJTEとが円滑にやりとりし、より良い授業を実現する方法について考える。

20

本校のALTが普段やっていること

- ・ 授業準備
- ・ テスト原案づくり（1部）・採点
- ・ お昼の放送ネタ作り（原稿から発表まで）
- ・ English Boardの計画・作成
- ・ スピーチコンテスト原稿・発表指導
- ・ イベントの計画・準備・実行
- ・ パフォーマンステストのアイデア・作成・採点
- ・ GLIのプレゼン資料づくりの補助



21

(4) (1)~(3)をふまえ、ALTとJTEとが円滑にやりとりし、より良い授業を実現する方法について考える。

①ALTの持ち味を知る。

- ・ 自由な発想がある
- ・ 特技を惜しみなく表現・発揮できる
- ・ ICTを使ったプレゼンに慣れている
- ・ カナダ英語やイギリス英語を使用している
- ・ 文法のニュアンスを言葉にして伝えられる
- ・ 楽しく生徒の英作を添削できる
(2人で内容を共有しながら)
- ・ 出身国の文化を伝える
- ・ **リアルタイムで英文を添削できる**

22

リアルタイムで英文を添削する場面のある活動の例：

- ・ 生徒は本文の段落ごとの内容をまとめ、タイトルをつけ、アイデアをFormsに投稿する。
- ・ ALTは投稿されたアイデアをホワイトボードに映しながら、その場で添削する。

6. Title the Story

Scan the QR code and post your ideas.



Smartphones have made our lives richer and more pleasant. However, many researchers report on the negative effects of the use of smartphones.

Title (1st paragraph)

Using smartphones to entertain very young children may negatively affect their development. For full mental and physical development, children need contact with other people and the real world.

Title (2nd paragraph)

It's not only the problem of child development. Teenagers and adults also face risks. Smartphones may distract us. They are always ringing and buzzing to make us pay attention to them. In fact, they may distract us even when they're on silent mode.

Title (3rd paragraph)

In one study, 800 people were asked to solve math problems. They were in three groups: (1) those who left their smartphones in another room; (2) those who had their smartphones in their pockets; and (3) those who kept their smartphones right in front of them. The results: Group 1 did the best; Group 2 came next; Group 3 did the worst. Smartphones had an effect on how well people were able to focus their attention.

Title (4th paragraph)

23

(4) (1)~(3)をふまえ、ALTとJTEとが円滑にやりとりし、より良い授業を実現する方法について考える。

②ALTとの「教科としての外国語／第2言語」の捉え方の違いを知る。

→ALTの出身国によって、外国語・第2言語の教育方法は大きく異なる。よって、日本における「外国語としての英語」の捉え方について、予めALTに伝えておくことが必要であると考えられる。はじめに伝えることで、言語教育のイメージの違いを共有できる可能性がある。

24

(4) (1)~(3)をふまえ、ALTとJTEとが円滑にやりとりし、より良い授業を実現する方法について考える。

③ALTへの説明の仕方を工夫する(タイミング、内容等)

- ・配属されたALTに、学校の特色や生徒の主な進路について説明し、その学校において何がゴールであるのかを知ってもらう。

(例) ALTに共通テスト等の入試問題を解いてもらう。

- ・ALTの勤務時間を把握した上で、できれば1週間ほどの余裕をもたせて仕事を依頼する。(ALTの中には2校掛け持ちの人もいます)

- ・「目的」や「期限」を明確にしてから伝える。

25

(4) (1)~(3)をふまえ、ALTとJTEとが円滑にやりとりし、より良い授業を実現する方法について考える。

④普段からALTとコミュニケーションをとる。

- 使用する言語が異なるだけの職場の仲間である。

- ・授業以外でも、他の同僚としているように会話をする。

- ・学校行事(文化祭や球技大会など)に参加してもらう。

- ・ALTに、「どう思うか?」など、意見を出せる場面を作る。その意見をできるだけ形にする。

(例) ハロウィンパーティの開催、English Board制作

26

ALTからもらったフィードバックより抜粋(1)

Overall, I would say that the lesson was quite successful. On a personal level, it enabled me to gain a greater understanding of what a Japanese teacher of English (hereafter, JTE) may expect of me in the classroom - although these expectations can differ from person to person, which I will discuss later. I think it fostered a spirit of open communication and collaboration which, I would suggest, is the true goal of team teaching. Most importantly, it seemed that the students enjoyed the lesson and were suitably engaged, for the most part. On the whole, it was a very useful style of lesson that I would like to see become more wide-spread. Under-utilisation (or indeed, over-reliance and over-utilisation of ALTs) is something that I am aware is, unfortunately, rather common in the industry.

27

ALTからもらったフィードバックより抜粋(2)

I would say that problems sometimes arose in the consistency between different JTEs when it came to the application of the teaching plan. It was often the case that different teachers would require a slightly different approach for each activity, and I found myself adapting on the spot, taking a leading or passive role where necessary. I'm unsure if it was the case that not every teacher was 100% clear on the fine details of the lesson plan, or if my tendency to practice 'flexibility' with a lesson plan based on student performance hindered uniformity between the lessons. I think that perhaps a lot of the blame lies with myself, as I was primarily responsible for communicating changes and progress updates with the other JTEs and ensuring that the different classes were completing the content at roughly the same pace.

28

これから改善を要する点

- ・1人のJTEが始終立ち回るのではなく、大まかな形が定まったら、ALTも含めたスタッフ全員でミーティングの時間をもつ。
- ・学年間でALTの仕事状況を共有し、調節できるならする。
(科会の時間を活用)
- ・「JTEの当たり前」と「ALTの当たり前」はそもそも大きく異なっている。
(働き方、時間の概念、言語観など)お互いに歩み寄ろうとする姿勢がある。(できればJTEから)
- ・JTEは1時間の授業内でALTが主に担当する活動にかけていい時間を明確に伝える。
(進度に影響するため)
- ・ALTの勤務時間を超えることは要求せず、時間内にやってほしいことをリスト化して伝える。